

アキラNEWS

仕事に少し関係のあることから、まったく
関係のないことまであなたにお届けします



今月のトピック

- ◆ 社長のひとり言
- ◆ 土曜日営業・休業案内
- ◆ あなたの今年のテーマはなんですか？
- ◆ 「涙なしでは見れない、語れない〇〇」

社長のひとり言

「いきなり電話」ダメですか？

電話対応は常に私達の社会の常識で支えられているはずです。この場合、常識とは常に人への思いやりとそれを伝える言葉の力が必要です。あたたかい思いやりの言葉、柔軟で闊達な会話力、そして勇気も必要です。それこそがAI時代に生き残ることができる電話対応ではないでしょうか？

「おはようございます。アキラ電機の〇〇です！」何気ない業務上のワンシーン。でも、「いきなり電話」はマナー違反です、と聞いたことはありませんか？電話をかける時に、事前にメール等で『これから電話しても良いか』の了解を得なければならない。その了解なしにかける電話のことを指すそうです。なんと面倒な！ダメなときは出られないだけなんだから…と思っていたら、それがモバイル時代の常識になりつつあるようです。

企業や工場の常識として定着している私物携帯はロッカーヘ。現場への持ち込みは禁止。緊急時の連絡も退社時間を持たなければならないのでしょうか…？

挨拶状や礼状、時には年賀状までもメールで済ませる人が増えました。かつては失礼な行為とされていたのでは…？

来客されたお客様にペットボトルのお茶をそのまま出すのは非常識な行為。それが今では、「ペットボトルでのお茶の出し方」というマナーがあります。

挨拶をしない、口を利かないということは会話をする力を弱めます。こちらの気持ちを伝えられなくなります。結果、人間関係が狭くなります。必要なこと以外は口を利かない、その必要なこともメールで伝える…。これが「常識」になってしまうのでしょうか？

私達はそんな時代に乗れない「非常識？」なことをやっています。お客様が不快に感じられるのであれば、変えます。

冒頭、言葉の力の話をしましたが私達も人間力で勝負しています。そんな人間力と共に感を感じて頂きご愛顧頂いています。私達は言葉に「心」を、商品に「思い」を込めた商売をさせて頂いております。

そんな私達の「常識」はダメでしょうか？



としたろう
山本 利太郎

土曜日営業・休業案内

- | | | | |
|-------------|-----|-----|----------------------------|
| 3/2 | (土) | ・・・ | 完全休業 (社内行事) |
| 3/9 | (土) | ・・・ | AMお引き取りのみ |
| 3/16 | (土) | ・・・ | 完全休業 (第3土曜日ですが休業です) |
| 3/23 | (土) | ・・・ | 完全休業 (第4土曜日はお休み) |
| 3/30 | (土) | ・・・ | 完全休業 (第5土曜日はお休み) |



あなたの今年のテーマは何かですか？

2019年も2か月が過ぎようとしています。早いものです。この感じだともうすぐお盆ですね…(笑)

アキラ電機にはご存知、福井さんという人がいます。彼の今年のテーマは「行動」だそうです。もともと行動力のある人だなあと感じていたので、今年はその行動力にさらに磨きをかけるのか！？ と一緒に働く同僚としてはとても頼もしく思うと同時に、売上成績を競い合うライバルとしては脅威に思っている今日この頃です。

さて、そんな私の今年のテーマは「ちょっと新しいことをやってみよう！」です。この“ちょっと”というところが大事なポイントです。「がっつり新しいことをやろう」なんて考えたら、それだけで嫌になってしまいます。“ちょっと”がいいんです、例えば…

- ・駐車場でいつも停めている場所と違う場所に止めてみる…
- ・行きつけのラーメン屋でいつも頼まないメニューを頼んでみる…
- ・いつもなら見て見ぬふりをしてしまう小さなゴミを拾ってみる…

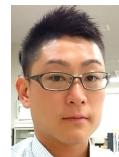
などなど、です。ひとつひとつは取るに足らない小さなことですが、それを毎日続ければ一年後には大きな変化につながるんじゃないかな！？と思いつながら、密かにやっています。（いつもと違う場所に駐車していたら、同僚たちから「原なんしとらん？」とかるいツッコミを頂きましたが…(笑)）

あのイチロー選手も言っています、「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行けるただひとつの道だ」と。

あなたの今年のテーマはなんですか？

と
とにかく具体的に
具体的に取り組む
具体的な答えは
ありますから
と

【↑名言は本物。書いたのは原。】



原 良

「涙なしでは見れない、語れない〇〇」



新田 陽一



福井 健太郎



原 良



吉田 英喜



北村 真斗

「火垂るの墓」

スラムダンクの名言

「はじめてのおつかい」

ここ20年は泣いた記

「インターネステラー」

予告編で涙ができる

『オヤジの栄光時代
はいつだよ…、全日
本のときか？オレは
今なんだよ！』
…(涙)

子供がおつかいにいくだけなんですけど…、純粋
な子供たちの人生の縮図
的なドラマを見せられ…、涙がでます。

憶がない…

SF作品ですが父と娘との絆が描かれていていま
す。その関係性を自分と
自分の娘と重ね合わせて
泣いてしました。

「アキラNEWS」のご意見・ご感想を頂けると励みになります。

株式会社アキラ電機

金沢市示野中町2丁目100番地

TEL (076) 223-3541 FAX (076) 223-3932

hara@osakadenki.co.jp (担当：原)

